

第 148 号

# 農業かなざわ

編集発行 金沢市農業委員会 電話 076-220-2223

## 金沢市農業委員会憲章

みのり豊かな金沢の土に親しむわたくしたちは、このかけがえない自然を守り魅力ある農業を築くため、誇りと責任ある行動に努めます。

- 1 農地をまもり 自然と調和する活力あるまちづくりをめざします
- 1 意欲ある担い手をそだて 農業経営の合理化をはかります
- 1 生産技術をたかめ 農地の規模拡大と有効利用をすすめます
- 1 研究と情報の輪をつなげ 暮らしと福祉の向上につとめます
- 1 時代にこたえ 健康で個性豊かな金沢の食生活をひろめます

平成3年1月28日制定

### 祝 金沢市農林漁業功労賞

令和5年10月10日、金沢市農林漁業功労賞の贈呈式がありました。農林漁業功労賞は、本市の農林漁業に顕著な功績のあった方に贈られる最も高位な賞であり、農業分野で受賞された4名の方々をご紹介します。

#### 金沢中央農協組合長 田村 政博さん

田村さんは、大徳地区の農家に生まれ、小学生の頃から水稲や酪農、梨栽培の手伝いをしてきました。昭和43年に旧大徳農協に就職し、現在は、金沢中央農業協同組合代表理事組合長として、都市近郊における農協事業を牽引しています。

全支店での「ふれあい朝市」の開催や、営農関連業務を集約したアグリサポートセンターの新設、無農薬栽培のコシヒカリを使い地元酒蔵と共同開発した「純米吟醸あまくち金沢美人」をはじめとする6次産業化の推進など、様々な取り組みを行ってきました。

また、金沢中央農協が平成元年10月に開講したカルチャー教室「仏像彫刻教室」の立ち上げにも携わり、月2回、土曜日の午後に開催される教室では、ご自身も受講し、これまでに90体近くの仏像を彫ったとのこと。「自信作はいくつかあるが、平成13年から2年がかりで彫った奈良興福寺様式の阿修羅像が一番かも」と話していました。

公私ともに忙しい中、健康にも気を遣い、夜に特に用事がなければ約1時間のウォーキングを日課とし、早朝や休日には、米作りと野菜の栽培に汗を流しています。

このように、精力的に多方面で活躍する田村さん。「金沢は都市化が進んでいるので、組合員の皆さんや地域住民の方々に愛され、地域の核となる農協を目指していきたい」との思いを語っていました。

これからも、更に充実した日々を過ごされ、本市農業の振興・発展のために益々ご活躍されますことを心から祈念いたします。

(取材 広報編集委員 山川 叔枝、田辺 善郎、鮎岡 裕)



自信作の前でえびす顔の田村政博さん

## 下安原町 西村 俊雄さん

西村さんは、砂丘地園芸産地の安原地区において長年にわたり「金沢そだち」のすいか・だいこんや、花きなどの栽培に取り組んできました。昭和63年に設立された「J A金沢市砂丘地集出荷場フラワー部会」では、初代部会長に就任。先進的な産地を訪れ技術を吸収し、地元では栽培研修会を開くなどで部会全体の技術力を高めてきました。

平成20年、栽培品目に新たに葉ぼたんを導入。今では、ストック、葉ぼたん等、毎年60〜70万本を出荷し、特に葉ぼたんは、石川県の出荷量が全国3位を誇り、品質も良く市場からは高い



ストックを収穫する西村俊雄さん

評価を得ているそうです。また、種苗会社との協力のもと、多様な品種を試験栽培しています。中でも「フレアホワイト」は、染色剤を用いたカラーリングにより仏事や慶事にも使用できるなど、葉ぼたんのイメージを超えたアレンジが可能とのこと。

現在は、すいかとだいこんの栽培は全て息子の和憲さんに任せ、西村さんは花きに専念しています。

「手間を掛けてやることで、結果的に良い商品が出来、かえって手間が掛からなくなる。しっかりとした品質のものを生産して、きっちりとした利益を出すことが大切だ」と語る西村さん。

これからも、パワフルに地域のリーダーとして活躍されることを願っています。

(取材 広報編集委員)

五坊隆一、山村哲夫、山口範子

## 俵町 山根 正昭さん

山根さんは、俵地区の集落営農組合、農事組合法人「俵ファーム」の設立に尽力し、現在も相談役として第一線で活躍しています。

同地区では、高齢化による後継者不足や、耕作放棄地の増加により、いつまで農業が続けられるのか心配されていたため、地域の将来について若い人の意見を聴きながら議論しました。その結果、「元気でにぎやかな地域にしたい!」との意見でまとまり、平成26年1月に全員参加



遠隔操作で水管理をする山根正昭さん

で「俵ファーム」を設立。減農薬・減化学肥料の特別栽培米コシヒカリを「戸室の俵」として販売するなどの取り組みを行っています。また、朝市を開催し、近隣住民との交流を図ることで地域の活性化に繋がっています。

令和元年には圃場整備事業を開始し、圃場の大区画化とともに大型農業機械の導入等により生産コストの低減にも取り組んでいます。

それに併せて、スマート農業にも挑戦。スマートフォンで遠隔操作が可能な自動制御の水管理システムを導入し、水管理労力の軽減と水資源の有効活用を図っています。「今後も、農業の継続のため、次世代のためにスマート農業を活用し、農作業の省力化を進めていきたい」と力強く語っていました。



山根さんは、「今回の受賞は、地域全体で受賞したものだと思う」と何度も話していたのが印象的でした。

今後も、地域農業のため、次世代への農業の継承のために益々ご活躍されますよう期待しています。

(取材 広報編集委員)

山川 叔枝、田辺 善郎、鮎岡 裕

### 河北潟干拓地 米光 明雄さん

米光さんは、農家の長男として生まれ、石川県農業短期大学を卒業後、茨城県で果樹の研究に携わり、その後、地元の米丸地区で親元就農しました。現在は、長男、長女、次女と力を合わせ、河北潟干拓地で、加賀野菜の「加賀れんこん」やすいかなどを自家製の堆肥を使い栽培しています。

れんこんの収穫は水掘りで行い、ホースから出る水でれんこんを傷つけないよう細心の注意を払って収穫します。8月から9月にかけて収穫したれんこんは、みずみずしくあっさりとしていて、サラダで食べるとサクサクとした食感が味わえ、旬の秋から冬にかけては、粘りが強くもっちりとしていて、蓮蒸しやすりおろし汁にすると甘味や粘りを味わうことができます。

昨年の夏は、すいかの収穫時に線状降水帯による大雨に見舞われ、畑が水浸しになり、すい



れんこんの出荷作業中の米光明雄さん

かを一個一個丁寧に拭き上げて出荷したとの大変な苦労話も、米光さんは笑顔で話していました。

「何の功劳もしたらん私が功劳賞なんておこがましい」と謙虚に話す米光さんでしたが、一代でれんこんとすいかをここまで育てたのは、並大抵の努力ではなかったのではと感じました。

これからも、河北潟干拓地の農業を牽引し、ご活躍されますよう応援しています。

(取材 広報編集委員)

五坊 隆一、山村 哲夫、山口 範子



後列：左から 山根さん、鳥井さん  
前列：左から 田村さん、村山市長、西村さん

令和5年度の金沢市農林漁業功労賞の受賞者は、田村政博さん、鳥井淳二さん、西村俊雄さん、山根正昭さん、米光明雄さんの5名の方々でした。おめでとうござい



## 金沢農業大学校修了生

### 北嶋 優樹さん

昨年11月、新規就農した金沢農業大学校修了生（第16期生）の北嶋優樹さんを訪ねました。

北嶋さんは、都市化が進む松村に生まれ、祖父が稲作農家で農機具や納屋などもあり、サラリーマンより農業をとの思いから、大学を中退し、金沢農業大学校に入校しました。農業大学校では野菜の栽培技術、農産物の流通や販売方法などを学び、思いのほか農業が楽しくなったそう、研修終了後、すぐに大徳さつまいも部会にも入りました。

「時間がある程度自由に使えることや、自分でやりたいようにできることが農業の魅力。一方で、就農するには機械や資材の購入など初期費用が相当にかかることや、作業場の確保、体力面の厳しさ、繁忙期の人手不足など課題も多い」と話していました。

現在は、内灘町とかほく市で農地を1ha借りてさつまいもを栽培しています。将来は、栽培品目も増やし、3haに規模拡大することを目標としており、ひまわり、すいか、だいこん等の試作も行っています。

北嶋さんは、困ったことがあれば、何でも部会の方に相談でき、ベテランの農家さんから様々なことを教えてもらえる環境にとっても感謝しているとのことでした。

さつまいもは比較的、天候に左右されにくいので栽培しやすく、収穫後は温度と湿度がしっかりと管理される農協の倉庫で保存できるため、計画的に作業ができ、11月から翌年の4月までの出荷の見通しが立てやすいそうです。また、将来は加工品を販売し、さつまいも6次産業化にも取り組みたいとのことでした。

思い描くビジョンに向かって、今後、農業用機械を格納するための施設整備や、規模拡大に伴う労働力の確保など、多くの課題を乗り越えなければならぬと思いますが、20代という若さを武器に、時代の流れを感じ取り、柔軟に対応できる農業経営者に育って欲しいと願っています。今後のご活躍を期待しています。

取材 広報編集委員

松平 裕喜、東 穰、新田 涼子



自慢の『大徳金時』を手にする北嶋優樹さん

## 千田果樹園代表

### 千田 美保さん

梨農家を継いだ鞍月地区の千田美保さんを訪ねました。

千田さんは、いしかわ耕稼塾や金沢農業大学校の研修修了後に就農。昨年、家業である梨農家を法人化し、千田果樹園(株)を設立しました。千田果樹園の梨は、8月中旬から10月にかけて直売所で販売しており、朝早くから収穫したみずみずしい梨は午前中で売り切れてしまうほどの人気となっています。

梨の栽培は、一年を通して作業が続きます。春先からの剪定、受粉、摘花、摘果、草刈、収穫など、息をつく暇もなく多くの作業があり大変ですが、生きがいを感じてとても楽しいと笑顔で話す千田さん。経営的な視点を重視し、農薬散布の効率化や収穫時期等を考えた品種選びなど、日々の研究にも余念がありません。

作業の中では、収穫した梨を並べた大きなコンテナを畑から梨を傷つけずに運び出すのが最も大変で、女性にとってはかなりの重労働とのこと。スマート農業などの後押しがあれば、もっと女性の農業参入が増えるはずだと話していました。

今後は、機械化によって人手を補い、作業の効率化を図ることで更なる規模拡大を目指していくそうです。



「先代から代々続く長年の歴史とリソースがあるから今の私がある」と、先祖や家族を大切に思う気持ちを語る千田さん。農業を志す女性農業者や若い方々が後に続くよう、これからもパワフルに頑張ってくださいね。応援しています。

(取材 広報編集委員

山口 範子、山川 叔枝、新田 涼子)



梨の誘引作業をする千田美保さん

## 県内農事視察研修報告

令和5年11月16日、加賀市尾中町において農業法人「なっば会」が取り組む資源循環型農業について視察しました。

なっば会は、環境に配慮した安全で安心な農作物の生産を目指し、食品残渣を活用した堆肥



なっば会の資源循環型農業を視察

の利用や、温室ハウスの加温に廃食用油を燃料としたボイラーを使用するなどの取り組みを行っています。露地5haとハウス46棟(1ha)で、金時草、ほうれん草、キュウリ、ミニトマト、小松菜等を栽培し、「加賀五菜」のブランドで出荷しています。

なっば会独自の堆肥を使うと連作障害が回避でき、食味も良くなり、薬剤の散布数も少なくて済むなどの利点があるそうです。また、家庭から出る廃食用油の回収は、女性団体や市役所をはじめ、一般市民からの協力により成り立っているとのこと。

近年、持続可能な開発目標・SDGsという言葉が耳にしますが、従来はゴミとして処分されていた食品残渣が資源となり、新たな野菜に生まれ変わる循環型の農業は、地球環境にも優しい取り組みであり、これからの社会に必要なと

される農業形態であると感じました。

(取材 広報編集委員

松平 裕喜、東 穰、新田 涼子)

## 令和5年度農地利用状況調査

農業委員会では、農地法第30条に基づき、農地利用の実態把握、遊休農地の発生防止、違反転用の未然防止等を目的に、毎年、農地利用状況調査(農地パトロール)を実施しています。今年度は、9月から12月にかけて、農業委員・

農地利用最適化推進委員が中心となりグループごとに重点的に調査を行いました。

調査の結果、遊休農地と判断されたものは、所有者に今後の利用意向を確認し、貸し付け可能な農地については金沢市農地バンクに登録するなど、農地が適正かつ効率的に利用されるよう努めています。



農地利用状況調査(農地パトロール)

～老後の安心に～

### 農業者年金

に加入しませんか！

#### ◎少子高齢化時代に強い年金です

自分の年金原資を自分で積み立てる積立方式の確定拠出型で、加入者や受給者の数に影響されにくい年金です。

#### ◎農業に従事する方は加入できます

##### 【加入資格】①年間60日以上農業に従事

②国民年金第一号被保険者

③65歳未満

※60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者に限る

#### ◎税制面での優遇措置があります

・支払った保険料は、全額（年額12万円）80万4千円）が社会保険料控除（所得控除）の対象となり、所得税、住民税の節税につながります。

・年金資産の運用益は非課税です。

・将来受け取る農業者年金は公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば、公的年金等の合計額が110万円までは全額非課税となります。

お問い合わせは、

農業委員会事務局 TEL 220-2223

J A 金沢市本店 TEL 237-3930

J A 金沢中央本店 TEL 291-5942

年金担当まで

### 金沢市内における農地に関する情報

金沢市内における令和5年1月1日から12月31日までの農地の賃借料については、次のとおりです。なお、この情報は、賃貸借契約を締結する際の参考であり、実際に賃借料を定めるときは、当事者間で決定願います。

### 金沢市内における農地の賃貸料

農地区分 (登記地目)	地域別区分	最低価格 (円/10a)	最高価格 (円/10a)	平均価格 (円/10a)	データ数 (件)
田	平坦地域	5,000	25,220	10,748	128
	中山間地域	7,000	7,000	7,000	5
畑	砂丘地域	21,000	24,000	22,636	11
	河北潟地域	8,000	20,000	11,317	16

※地域別平均価格から著しい差異があるものは除いています

### 編集後記

令和6年能登半島地震で被害に遭われた皆様方に、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。被災された地域の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、全国で農業委員や農地利用最適化推進委員が、タブレット端末を活用し農地利用状況調査を行っていますが、本市では、特に中山間地域において、不作付地や荒廃農地が目につきます。

また、市街地周辺では、区画整理事業等により優良農地がどんどん減少しています。

時代の流れとともに農地も農業従事者も減少する中、新規就農したいと農業に希望を持つ若者が現れています。

金沢農業大学校に運営委員として携わる身として誠に嬉しい限りです。

(広報編集委員長 松平 裕宣)

